

2003年2月10日 中京大学図書館発行

図書館長の任期を終えるにあたって

中京大学図書館長

長谷川 端

この3月で、私立大学図書館協会会長校の任期である2年間を終えることとなります。1997年4月から本学の図書館長を兼務することになり、その前月に前任者の家崎宏先生(前法学部教授)から事務引継ぎをした中で、2002・3年度に会長校になるという話が出、次に福井司郎図書館事務長から詳しく聞くことが出来ました。しかし、何でもそうでしょうが、話と事実とは大違いで、この2年間本当に忙しい日々を過ごしました。よその大学図書館の館長さんと話をしていると、講義のコマ数がいくつ減りましたかと尋ねられることがよくありました。大学院を入れて6コマですが、1コマも減らして貰えないのですよと答えると、一様にあきれ顔が返って来ました。そのうえナントカ・カントカ委員会の委員があり、入試の仕事も変わることなく、いやむしろ増えたくらいですよという、相手の先生は、びっくりなさるのが常でした。

昨年秋に、文部科学省のある部局からのアンケート調査があり、会議や出張がこの1年に何日、何時間あったか、講義の準備にどのくらい時間を割いたか等々、かなり細かな質問事項がありました。手帳をくりながら、さまざまな時間の、年間の合計を出してみました。私大図書館協会のために費やした時間数の多さにびっくりしました。健康管理には神経を使ってきたつもりですが、身体の方も何とかもってくれた形で、この3月末で任期を終了するところまで漕ぎつけました。これもひとえに中京大学に働く人々のご協力のお陰と思っています。また大学当局が、会長校としての職責を果たすために必要な予算措置をとって下さったことも、図書館の責任者としては実に有難いことでした。

この私大図書館協会の会長校としての日々の業務が繁多であったために、中京大学図書館そのものの改革・改善は、この2年間当初期待したほどは進みませんでした。まず第1に、1号館の名古屋図書館(学内では本館と言っている)の開架化とエレベーターを使う入館路の確保の問題があります。これらは図書委員会(本学の各学部及び教養部の代表者2名と図書館側からの数名とからなる委員会)、図書館運営のためのさまざまな事柄を検討・討論し、決定する機関)でも話し合われましたが、方向が承認されたという段階でストップしています。大学図書館のあるべき姿は開架式であろうと学生時代から思っておりましたが、現代のように、学生が実際に本を手にとってみるという機会がますます少なくなり、卒業論文を書く段になっても自分で本をなかなか買わずに、最低必要な所だけをコピーですます時代には、1年でも早く開架式にしたいものです。図書館としての、いわば導線の変更やブックディテクションの新設等の工事を伴いますが、工事の方は特に問題はないということです。開架式で全館くまなくめぐりこみ、自分で書物を手にとって検索できる喜びを、すべての学生に味わって欲しいのです。LSC(ゼロ号館のライブラリー・サービス・センター)は7万冊で満杯で、学生諸君の知識欲を満たすには不足です。また、1号館に足を運んでもらわなくては、中京大学の図書館の良さ・実力を理解してもらえません。このままでは、大学図書館のランキングは最低に近いところで固定してしまうでしょう。

次に開館時間の延長問題があります。図書館業務はサービスの時間と質の高さで計ることが出来ると思いますが、可能な限り、開館時間を延長する必要があります。もちろん人員が確保されなければなりません。この問題は、今春開設のMBA大学院ビジネスイノベーション研究科の関係で、理事会は

平日午前9時から午後10時までの開館(新設の図書室及びLSCに関して)を決定しております。新設大学院だけでなく、放送大学やオープン・カレッジの社会人学生にとっては、図書館のサービス向上と利用時間の延長は切実な問題です。もっともこの点は普通の通学生にとっても同じことですので、中京大学の学生・院生の要望をもっと汲みとる必要があるでしょう。理事会が人員その他、適切な処置をとってくれるようお願いする次第です。

最後になりましたが、中京大学図書館が社会に開かれた図書館として成長し続けるために、学生・院生・そして街の利用者がどしどし図書館に意見を出して下さることを希望いたします。

著者に聞く

～『ベルリン新教育の研究』を著した小峰総一郎先生～

(編集部)

1989年11月9日、「ベルリンの壁崩壊」という歴史的な出来事が起こりました。『ベルリン新教育の研究』の著者である小峰総一郎先生はこの事件を現地で目のあたりにしました。当時、先生はドイツのベルリン自由大学の客員研究員として、西ベルリンで家族と一緒に生活していました。この歴史的な事件に遭遇したことはこの著作に挑戦する大きな刺激になったといえます。これを機に、先生の研究はさらに拡大し深められました。その後の研究の成果が認められ、2001年に東京大学から博士(教育学)の学位を授与されました。

『ベルリン新教育の研究』で取りあげられたドイツ共和国(ワイマール共和国)プロイセン邦の大ベルリン市でとりくまれた新教育運動は、どのような時代状況の中で生まれたのでしょうか。第一次世界大戦末期の1918年11月、ドイツのキール軍港での水兵の反乱から始まったドイツ11月革命によって、皇帝ヴィルヘルム2世が退位し、ドイツ帝国は崩壊しました。新しく生まれた社会民主党を中心とした政権は、翌1919年8月、当時においては世界史上最も民主的な憲法といわれるワイマール憲法(ドイツ共和国憲法)を制定しました。ワイマール憲法では教育を通じての民主的社会的建設が強く謳われていましたが、その後のドイツの新教育はこの憲法の理念に基づいて多様に展開されて行きました。本書はワイマール共和国の成立からナチスの政権獲得(1933年)までのベルリン市における新教育運動を詳細に研究したものです。

ベルリンはドイツで新教育運動が最も発展したところですが、それはベルリンがプロイセンの中で独自の権限を持ち、教育専門家による行政が、教師集団、市民、労働者による連帯と教育界への医師や建築家の参加、芸術家や教会関係者の協力に支えられていたことによって実現したものでした。そこで行われた教育改革の指標は教育の世俗化・統一化・大衆化でした。世俗化とは特定の宗教教育を強制されない学校づくりであり、統一化とは初等教育と中等教育の間に制度的連続性を持たせ、中等教育における複雑な分裂状態を改善すること、大衆化とは生徒や父母の参加を保障し、生徒の社会性や自治能力を養おうとするものだと言うことができるかと思えます。

小峰先生の話では、当時の中等教育の中心であったギムナジウムは同一年齢の100人中わずか数人しか入学できないようなエリートの子弟ばかりが学ぶ特権的な学校であったそうです。そこではラテン語やギリシャ語が重んじられ、知識中心であり、厳格な規律の中で先生の命令は絶対という雰囲気支配していたとのこと。これに対してベルリンの新教育は、柔軟なカリキュラムの下で、芸術やスポーツ活動を活発にし、林間学校や学校田園寮での協同体生活、農場での労働体験等を重視し、知識とともに心や体の発達を大事にし、これまでの教育とは大きく異なるものでした。本書の口絵で紹介されている数点の写真の光景は、当時の教育の一端を示しています。その一つであるシャルフェンベルク島学校農園の教育実践もまたユニークです。本書の第8章でシャルフェンベルク島学校農園のことが38頁にわたって記述されていますが、これはベルリン北西のテーゲル湖の中にあるシャルフェン

ベルク島につくられた学校の話です。ここでは農業を基本とし、生活と教育を一体化させた宿泊制の総合ギムナジウムが創設され、生産と教育が豊かに展開し、自然と人間の新しい関係を構築することによって、人間性と知識の両面で素晴らしい成果をあげた様子が描写されています。実に夢のある教育実践の記録です。しかも、これがエリートの集まる特権的な学校の中で展開されたことも特筆すべき点です。

ワイマール時代のこのような夢のある教育運動は現在のドイツの教育にどのように作用しているのでしょうか。ナチスの台頭でベルリン新教育運動は駆逐されたと言われていました。しかし、ナチスの支配下でもベルリン新教育の理論と実践は決して死滅した訳ではなく、ある部分で存続・継承されたのです。そして第二次大戦後のドイツの教育復興には新教育の精神が導きとなったのです。その一端を示す例として小峰先生がドイツの学校を視察した時の様子を話して下さいました。ドイツの学校で学ぶ若者達は各自の意見を持ち、さらにそれを積極的に表現しようとする姿勢が非常に強いということです。彼らは先生の質問に対して勢いよく手をあげ、自分に当ててくれと言わんばかりに指を擦ってパチンという音を立てるそうです。かつて読んだ『豊かさとは何か』(暉峻淑子著 岩波新書)という本の中で、息子をドイツの小学校に入れた日本の母親が、ペーパーテストの点が良いのに通信簿で「3」の評価しかもらえなかったのもその理由を聞くと、「あなたのお父さんは自分の意見がないから」と言われたという話が紹介されていますが、小峰先生の話はそんなことを思い起こさせる内容でした。

政治や経済だけでなく、わが国の教育も混迷を深めています。本書はわが国の教育の将来を考える上でも有益な素材を提供してくれていると思います。教育関係に進もうとする皆さんはもちろん、教育に関心のある方々にも是非ご一読いただければと思います。

最後に図書館についての話になりました。「図書館の情報化が進み、図書館を窓口にした情報検索の恩恵を日常的に受けており、非常に有難く思っています。今後も情報のメディアセンターとしてますます発展してほしい」というコメントをいただきました。ご多忙にも拘らず、長い時間を割いていただいた小峰先生に感謝を申し上げます。

☆『ベルリン新教育の研究』は中京大学の下記の図書館に所蔵されています。また、本書の概要は教養部教員紹介のホームページで学内公開しています。

(URL : <http://www.cnc.chukyo-u.ac.jp/users/skomine/>)

請求記号 : 372.343/Ko 64

所蔵館と登録番号 : NL ; 1006987 TL ; 0892998(開架) 0888554(閉架) LSC ; 1009140

小峰総一郎先生のプロフィール

1951年 埼玉県に生まれる

1973年 埼玉大学教育学部卒業

1980年 東京大学大学院教育学研究科博士課程満了

1980年 中京大学教養部に講師として着任 1983年 中京大学教養部助教授

1989～1990年 ドイツ・ベルリン自由大学客員研究員として1年間西ベルリンで生活

1992年 中京大学教養部教授

2001年 東京大学より博士(教育学)の学位を授与される

教育史が専門で、現在 中京大学教養部教授として「教職入門」「教科教育の内容と方法」「教職総合演習」を担当

<著書>

『現代ドイツの実験学校』(明治図書 1986年)

『学力の形成と評価』(共著 第一法規 1984年)

『近代教育思想』(共著 有斐閣 1979年)

『シュプランガー・ドイツ教育史』(共訳 明治図書 1977年)

新着図書セレクト

請求記号	タイトル・著者・出版社	所蔵
010.33/N 71	『図書館情報学用語辞典』(日本図書館情報学会用語辞典編集委員会 編 丸善)	TL LSC
081.6/I 56/8	『日本人はなぜ戦争をしたか』(猪瀬直樹 著 小学館)	TL
112/I 64	『時間は実在するか』(入不二基義 著 講談社)	LSC
118.033/E 22	『現代思想芸術事典』(アンドリュウ・エドガー, ピーター・セジウィック 編)	LSC
121.6/A 93	『日本近代精神史の研究』(飛鳥井雅道 著 京都大学学術出版会)	NL
124.22/Ku 94	『老子の人と思想』(楠山春樹 著 汲古書院)	NL
143.5/I 97	『女は男のどこを見ているか』(岩月謙司 著 筑摩書房)	LSC
153/Ta 84	『職業の倫理学』(田中朋弘 著 丸善)	TL
210.273/A 93	『邪馬台国の謎と逆転日本列島』(飛鳥昭雄, 三神たける 著 学習研究社)	LSC
210.6/C 65	『号外!号外!号外!』(中日新聞社メディア局企画・制作 中日新聞社) 1891年から2001年までの250点の号外を精選して収録。	TL LSC
210.74/Ma 86	『南京戦・閉ざされた記憶を尋ねて』(松岡環編 著 社会評論社) 南京大虐殺を巡る重い、長い沈黙。元兵士らは、四年間に及ぶ市民の執念の聞き取り調査に、その口を開いた。	TL
222/N 93	『中華世界の歴史的展開』(野口鉄郎先生古稀記念論集刊行委員会 編 汲古書院)	NL
223.107/Sh 39	『サイゴン陥落のレクイエム』(島村矩生 著 函館大学出版会)	LSC
316.2/R 25	『Q&A もっと知りたい靖国神社』(歴史教育者協議会編 大月書店)	TL
319.53/N 99	『アメリカへの警告』(ジョセフ・S・ナイ 著 日本経済新聞社)	LSC
324.6/Ma 79	『変貌する現代の家族と法』(松川正毅 著 大阪大学出版会)	LL
326.303/J 51	『事件・犯罪大事典』(事件・犯罪研究会, 村野薫編 東京法経学院出版) 《参考図書》	TL
326.34/Ma 44	『犯罪の深層』(間庭充幸 著 有斐閣) 人間の主体性と社会文化状況の両次元を組み込み、加害者の主体的認識 = 「深層」へアプローチする、犯罪行動の深層理論を提示。現代犯罪の真相に迫る。	LL TL
329/O 68	『資料で読み解く国際法; 上 下』(大沼保昭 編著 第2版 東信堂)	LSC
332.107/Sa 93	『資本主義は何処へ行く』(佐和隆光 著 NTT 出版)	LSC
332.107/Ta 73	『日本経済不作為の罪』(滝田洋一 著 日本経済新聞社) 間欠泉のごとく噴き出す金融危機とその場しのぎの封じ込め政策。しかし、デフレは止まらず、国富はじわじわと失われていく。政策担当者や金融現場の取材をもとに、進行する「悲劇」をレポート。	LSC
361.6/Ko 98	『民族という虚構』(小坂井敏晶 著 東京大学出版会)	LSC
367.68/O 55	『よい子はよい大人になるか』(奥村晋 著 小学館) ワルにも理由がある。そうせざるをえなかったワケがある。彼らの言い分にトコトン耳を傾け、生きる道すじを示す。	TL

369.31/Ts 25	『東海地震いつ来るなぜ来るどう備える』(土隆一, 榛村純一編著 清文社)	TL
380.8/Mo 35/108	『ものと人間の文化史; 108(襖)』(法政大学出版局)	TL LSC
393.21/H 29	『有事法制 Q&A』(反改憲ネット 21 編 明石書店) 有事法制の何が問題か? 有事法制三法案に見る有事法の根本的問題。	LSC
402/G 24	『知の歴史』(ローラ・ガーウィン, ティム・リンカン 編 徳間書店) 科学誌「ネイチャー」130年の結晶。未来を切り開いた21の大発見を第一線の科学者が解説。	LSC
421.1/Ta 67	『ゼロから学ぶ相対性理論』(竹内薫 著 講談社)	LSC
440.12/Ko 84	『ようこそニュートリノ天体物理学へ』(小柴昌俊 著 海鳴社)	LSC
467.3/N 32	『絵でわかるゲノム・遺伝子・DNA』(中込弥男 著 講談社)	TL
487/N 82	『内臓が生みだす心』(西原克成著 日本放送出版協会) 心肺同時移植を受けた患者はすっかりドナーの性格に入れ替わってしまうという。これは心が内臓に宿ることを示唆している。[脳中心の人間観を見直す]	TL LSC
498.6/F 64	『近現代日本ハンセン病問題資料集成; 戦前編(第1巻～第4巻)』(藤野豊編・解説 不二出版)	TL
519/C 44	『地球が危ない!』(地球危機管理委員会 編 幻冬舎) 最新の環境問題と地球を救う77の方法を簡単徹底解説。	LSC
519/Ma 77	『環境ホルモンの最前線』(松井三郎 [ほか] 著 有斐閣)	LSC
519/O 35	『ヒートアイランド』(尾島俊雄 著 東洋経済新報社) 新世紀においても、都心居住者の増加は進み、熱くなる大都市の熱をどのように処理するかは大きな課題である。	TL
590/I 23	『仕事と年齢にとらわれないイギリスの豊かな常識』(井形慶子 著 大和書房)	TL
674.21/O 36	『ブランド』(岡康道, 吉田望 著 宣伝会議)	LSC
702.3/Ta 84	『西洋美術への招待』(田中英道 監修 東北大学出版会)	LSC
772.22/Ka 86	『京劇』(加藤徹 著 中央公論新社)	LSC
796.04/Ta 87	『心を読み、かけひきに勝つ思考法』(谷川浩司, 古田敦也著 PHP 研究所)	TL
818/N 71	『21世紀の方言学』(日本方言研究会 編 国書刊行会)	LSC
903.1/N 71	『読書案内世界の作家』(日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ) 《参考図書》	TL
910.268/H 29	『清張さんと司馬さん』(半藤一利 著 日本放送出版協会)	LSC
913.6/Ka 16/1	『広場(雲の都; 1)』(加賀乙彦 著 新潮社)	LSC
913.6/Se 94	『釈迦』(瀬戸内寂聴 著 新潮社) この世は美しい。人の命は甘美なものだ。釈迦80歳、涅槃に至る最後の旅。寂聴80歳、入魂の大作。	LSC
913.6/Ts 73	『異形の将軍; 上, 下』(津本陽 著 幻冬舎) 日本の高度成長を演出した戦後最大の巨魁、田中角栄の生涯を描いた画期的評伝。	TL LSC

NLは名古屋図書館 TLは豊田図書館 LSCはライブラリー・サービス・センター LLは法学文献センターです。

ベストリーダー(雑誌・外国語辞典を除く)

11月の貸出回数上位図書

	順位	貸出回数	請求記号	書名
N L	1	4	911.162/I 76	啄木を繞る人々
	"	"	014.3/Mi 75	ロシア語図書目録法入門
	3	3	911.162/I 76	新編啄木と郁雨
	"	"	911.5/Su 27	星の世界
	"	"	330.3/Ke 29/1	経済学大辞典
	"	"	910.268/Sa 25	宮沢賢治星の図誌
	"	"	780.21/Ka 38	信長記

T	1	13	304/B 33/1	資本主義の文化的矛盾
	2	4	014.45/Mo 45	日本十進分類法
L	"	"	913.6/N 52	官邸
	"	"	913.6/Mu 43	海辺のカフカ
	"	"	411.3/L 67/1	線形代数

L S C	1	14	837.7/O 93/34	The adventures of Huckleberry Finn
	2	11	837.7/O 93/39	New Yorkers
	"	"	837.7/O 93/36	The love of a King
	4	9	837.7/O 93/69	Skyjack
	5	8	837.7/O 93/29	Dracula
	"	"	837.7/O 93/24	Anne of Green Gables
	"	"	837.7/O 93/22	Agatha Christie, woman of mystery
	"	"	837.7/O 93/86	Little women 他洋書2タイトル
	12	7	837.7/O 93/40	The piano 他洋書7タイトル
	19	6	837.7/O 93/38	The mystery of Allegra 他洋書11タイトル
31	5	913.6/Mu 43	海辺のカフカ 他和書2タイトル 洋書22タイトル	

L	1	4	327.8/Ka 21	Q&A 改正少年法
	2	3	318.2/R 25/3-2	日本の歴代知事
L	"	"	326.1/I 89	刑法総論
	"	"	326.34/A 38	犯罪心理学

12月の貸出回数上位図書

	順位	貸出回数	請求記号	書名
N	1	5	372.1/Ko 49/4	日本近代教育百年史
	2	4	373.108/Me 25/4	明治以降教育制度発達史
L	"	"	121/F 79	道教と日本古代
	4	3	904/Ka 84/1	片上伸全集
	"	"	140.8/Mi 96/9	人間性心理学大系
	"	"	913.6/Mu 43	新・経営海外移転論
	"	"	335.1/Mu 62	経営人類学

T	1	12	014.45/Mo 45	日本十進分類法
	2	4	374.48/N 37/3	運動会を考える
L	3	3	781.4/P 77	指導者のためのダンスエアロビクス
	"	"	318/Ma 88	シビル・ミニマムの思想
	"	"	780.193/I 76	健康・体力のための運動生理学
	"	"	374.408/I 21/3	子どもが主役の学校行事
	"	"	234.9/Ki 14/1	ポーランド史
	"	"	816.5/Ki 46	レポートの組み立て方
	"	"	141.21/I 59	Q&Aでわかる脳と視覚
	"	"	164.22/E 56/2	中国の神話伝説 他和書2タイトル

L	1	8	837.7/O 93/31	Five children and it
	2	7	338.7/A 53/8	ナニワ金融道
S C	"	"	837.7/O 93/40	The piano
	"	"	837.7/O 93/24	Anne of Green Gables
	"	"	837.7/O 93/21	The wizard of Oz
	6	6	336.83/Ki 24	連結経営におけるキャッシュフロー計算書
	"	"	837.7/O 93/23	Alice's adventures in Wonderland
	8	5	913.6/Mu 43	海辺のカフカ
	"	"	335.21/Mu 62	新・経営海外移転論
	"	"	837.7/O 93/29	Dracula
	"	"	837.7/P 37/48	The sheep-pig
	"	"	837.7/P 37/74	Heidi

L	1	3	326.1/F 74	刑法総論
	2	2	324.08/C 67/5	注釈民法
L	"	"	327.19/Mu 43	証明責任の研究
	"	"	021.2/I 57	ホームページにおける著作権問題
	"	"	373.1/Ts 31	明治前期教育政策
	"	"	318/O 63	地方分権改革
	"	"	326.34/Y 16	少年犯罪の深層心理
	"	"	326/I 87	刑法
	"	"	319.8/Ma 26	現代の戦争 他和書9タイトル

図書館カレンダー

■は休館日です。

○数字は短縮(全館 平日…9:00~17:00 土曜日…9:00~12:30)

2 月							3 月							4 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												

3月19日(水) : 卒業式

4月 2日(水) : 入学式

本学教員著作の寄贈図書

『アジア経営学』

—国際経営学/経営人類学の日本原形と進化 中京大学中小企業研究叢書 第5号

経営学部 村山元英 先生著

出版者 中京大学中小企業研究所

所蔵館 名古屋・LSC 請求記号 335.22/Mu 62

『民族自決権の意義と限界』

法学部 丸山敬一 先生著

所蔵館 法学文献センター(LLC) 請求記号 316.8/Ma 59

出版社 有信堂高文社

ご寄贈有難うございました。

お知らせ

来年度よりAVセンターは図書館に移管されます。それに伴い、3月1日(土)より31日(月)までの期間、名古屋AVセンター事務室の改装工事を行います。したがってこの期間は、名古屋AVコーナーのAV資料の利用が出来なくなりますのでご了承下さい。なお4月からは、名古屋AVコーナーのブースを増やし、サービスの向上につとめますが、利用方法について若干変更する予定ですので宜しくお願いします。

~Culib News 編集部より~

編集部では利用者の皆様のご投稿を歓迎いたします。図書館への要望やご意見、書評や読書感想、エッセイなど、どしどしお寄せ下さい。次回の発行は2003年4月の予定です。

〒 466-8666

名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学図書館クリブニュース編集部